



# 市議会だより

## 第27回 議会報告会

### 『市民と議会のつどい』

開催日 令和2年10月6日(火)  
時間 午後7時～午後8時30分  
場所 アイプラザ半田 小ホール  
○ 本会議報告(9月定例会まで)  
○ 意見交換会

[▶ YouTube](#)

新型コロナウイルス感染症の拡大を懸念いたしまして、報告会をYouTubeでご覧いただき議会を身近に感じて頂けたら幸いです。

半田市議会



- 一般質問9人が市政を問う!
- 議員勉強会を開催しました
- 11月臨時会、12月定例会審議結果
- 事業評価結果報告
- 議会報告会YouTubeにて配信中
- 議員提出議案について
  - ・ 半田市感染症条例
  - ・ 令和3年度に関する政務活動費の限度額の特例に関する条例

P.2~5

P.5

P.6~7

P.8~9

P.9

P.10

# 市政を問う

## 一般質問

12月定例会における市政に関する一般質問は、12月1日、2日に行われ、9人の議員が質問に立ちました。各議員の質問と市長を始めとする当局の答弁要旨は次のとおりです。

(質問議員が執筆し、掲載順序は質問順です)

※質問、答弁の詳細は3月1日頃から半田図書館・亀崎図書館等に設置された会議録でご覧いただけます。また、市議会ホームページにも掲載します。  
※その他、議員ごとにYouTubeへ直接アクセスできるQRコードを掲載しています。



公明党 坂井美穂

### 子宮頸がんから命を守るための情報提供

**問** ワクチンの定期接種対象者と保護者に対して、個別の情報提供を行うべきと考えますが、いかがですか。

**答** 高校1年生相当の対象者の保護者に対し、個別にパンフレットを送ります。小学6年生から中学3年生には、学年だより等で連絡します。仮に1回ご案内したものがそのまま読み流されてしまっても、次なる手段で周知がされるような情報提供の方法を考えていきます。

**問** がん検診受診率の向上と早期治療・重症化予防の取組み

**問** 40歳以上の方でも正常乳腺が高濃度の方については、超音波検査を併用すべきと考えますが、いかがですか。

**答** 効果を立証するものがないため、現時点では実施する考えはありません。

**問** 大規模な臨床研究(J-START)について

**答** 公的な機関で効果を示された段階で速やかに検討に入ります。

**問** 乳がんのセルフチェックシートを配布することで、正しいセルフチェックができ、検診の重要性の普及啓発に繋がると思いますが、いかがですか。

**答** 方法を図解したチラシを作成し、検診無料クーポン券と一緒に郵送することを検討します。

**問** 胃がん健診でバリウム検査を受けられない方に、内視鏡検査を導入すべきと考えますが、いかがですか。

**答** 対象者を絞って、方法について検討していきます。

**問** 認知症に対する不安のないまちづくり

**答** 実施に向けて制度設計をしていきます。



創造みらい半田 竹内功治

### 子どもたちに対する予防接種の取組み

**問** 子宮頸がんは年間約一万二千人が発症し、約二千八百人が死亡する危険な病気です。現在は定期接種の積極的勧奨を中止していますが、対象の小6から高1の女子と保護者が接種の判断を出るように情報提供を進めるべきでないですか。

**答** 高1の女子は個別にパンフレットを郵送しました。今後、小6から中3の女子は学校を通じて情報提供を行います。

**問** 今後の増加が予測されている。半田市として積極的勧奨の中止を解く考えはありますか。

**答** 現在は予防接種の判断が出来るように情報提供の充実に努めます。

**問** 男性を介して発症する女性も多いです。同年代の男性に対して情報提供を考えていますか。

**答** 現在のところ考えていません。

**答** 予防接種は自己負担である任意接種のため、年間で20人前後の小中学生が感染し予防接種率は約70%と確認していますが、正確な数値は把握していません。

**問** 愛知県内54市町村中18市町村が、おたふくかぜワクチンの予防接種の費用助成を行っています。費用助成をしている自治体によると予防接種の副作用は少なく、症状の重症化を防いでいるとのこと。半田市も予防接種の費用助成を行うべきでないですか。

**答** 現在、国で定期接種に向けた議論が進んでいます。半田市として国の動向を注視し、何らかの動きがあった際には迅速に対応する考えです。

**問** 「国立感染症研究所」によると予防接種で家庭の負担軽減だけでなく自治体の医療費削減が見込まれ、費用対効果に優れているとのこと。子どもたちの安心と安全を守ることも考えると費用助成は必要ではないですか。

**答** 予防接種の事業は市の負担が多く、現在は費用助成を考えていません。



市政を問う 一般質問 (質問議員が執筆しています)



創造みらい半田 水野尚美

多様な性の理解促進と支援

性的少数者に対する理解啓発をどのよう

これまでに市報においてLGBTに関する記事の掲載やパネル展示

職員全員の共通理解を図るために、職員向けのガイドラインが必

職員が性の多様性を正しく理解し、性別で区別することなく市民

持つて生まれた一人ひとりと違う大切な自分の「核」となる部分を否定されることなく、誰

第3次男女共同参画推進計画の市民アンケートでは、42・6%に

の回答がありまして。パートナーシップ制度については、今後、取

中学生の学生服の選択制について、様々な生徒に対する配慮の必

生徒の選択肢を増やして、誰もが快適に着られる標準服にすること

生徒の選択肢を増やし、誰もが快適に着られる標準服にすること

生徒の選択肢を増やし、誰もが快適に着られる標準服にすること



維新・半田市民の会 中川健一

半田らしさをふまえて、まちづくりへ

私たちの文化と文化の定義とは社会を構成する人々

赤レンガにある機銃掃射跡を見た小学生が米国の戦争のことを

山車、蔵、南吉は祭りに参加し、教科書で南吉文学を学び、酢や

山車、蔵、南吉は祭りに参加し、教科書で南吉文学を学び、酢や

山車、蔵、南吉は祭りに参加し、教科書で南吉文学を学び、酢や

赤レンガでは今はビールを醸造していません。山車、蔵、南吉と

赤レンガに対する愛着を醸成することは金銭だけでは測れない価値を生んで

観光のためにもやっています。観光にのみ特化して赤レンガへ

観光のためにもやっています。観光にのみ特化して赤レンガへ

観光のためにもやっています。観光にのみ特化して赤レンガへ

観光のためにもやっています。観光にのみ特化して赤レンガへ



創造みらい半田 伊藤正興

Withコロナとアフターコロナにおける経済振興

地域経済の活性化のため、今後、新たな事業やプロジェクトを検討

今後、コロナの感染状況により、変化していくことも想定され

GOTOトラベルキャンペーンで、市内の観光施設を訪れた人

GOTOトラベルキャンペーンで、市内の観光施設を訪れた人

GOTOトラベルキャンペーンで、市内の観光施設を訪れた人

半田市における現時点でのGOTOキャンペーンの評価をどのように判断していますか。

GOTOトラベルの地域共通クーポンは、観光施設や駅周辺の飲食

半田市にゆかりのある人達で、市内の観光や飲食店をPRする

半田市にゆかりのある人達で、市内の観光や飲食店をPRする

半田市にゆかりのある人達で、市内の観光や飲食店をPRする

半田市にゆかりのある人達で、市内の観光や飲食店をPRする



市政を問う 一般質問 (質問議員が執筆しています)



維新・半田市民の会 加藤美幸

コロナ禍をふまえた避難所運営と避難所外避難の対応は

市内の自主防災会が地域住民へ行ったアンケート調査で、コロナ流行前と後では避難行動に意識の変化があることがわかりました。災害が起きた時、指定避難所へ行く予定の方は62.9%から35.9%に減り、在宅避難は29.4%から49.8%に増えました。車中泊は3.4%から7.6%、親戚宅等への避難は1.9%から2.9%、テント泊は1.3%から2.7%に変化し、避難所での感染を不安に思う住民が数多くいることがわかります。半田市は感染症対策をふまえた災害対応にどのような取組む考えですか。

県作成の「避難所における新型コロナウイルス感染症拡大予防ガイドライン」に基づき、従来の感染症対策に加えスペースの拡大、避難者の区分け、検温や問診による健康確認、体調不良者の専用室確保の他、アルコール消毒やゴム手袋

など衛生用品の配備を強化し、できるだけ感染のリスク軽減を図ります。市内ホテル事業者と協定し災害時に避難所とする準備もしています。

在宅や車中泊など避難所外で避難する人の把握や支援に対し、市や地域の役割はどのようですか。

まず最寄りの地域の避難所にて避難者カード（登録票）を記入し届出をしてください。半田市では市内6か所に地域拠点支部を設けており、避難所外の避難者にも被災後の医療や福祉に係る支援情報や物資の提供などの役割を担います。ただし、発災直後においては自助が重要です。普段からハザードマップで被災リスクを確認し避難方法を考え、各家庭で水や食料、マスクなど備蓄していただき。命を守る防災は自助共助公助の連動が欠かせません。情報の伝達方法は、屋外スピーカーの放送や広報車

の巡回、ホームページや学校メルマガ、防災ツィッター、避難所の掲示板などあらゆる手段で広報活動を行います。



無所属 鈴木健一

身寄りのない生活困窮者の住まいの確保と死亡後の対応

身寄りのない単身高齢者の住まいの確保についてどう考えていますか。

地域包括ケアシステムを推進する中で、住み慣れた地域や自宅を安心して暮らせるための支援を行っています。半田市の身元保証の仕組みはどのようなものになりますか。

入院・介護施設への入所をする場合には、半田市地域包括ケアシステム推進協議会において身元保証等がない方の入院・入所にかかるガイドラインを作成し、活用しています。

生活保護利用者が死亡した時の遺品整理の費用負担はどのようになっていますか。

死亡した時点で生活保護は廃止になるため、遺品整理にかかる費用を生活保護費で賄うことはできません。

遺品整理の仕組みを作るべきだと思います。

遺品整理の仕組みを作るべきだと思います。



公明党 山田清一

災害情報の伝達強化

ひとり暮らし高齢者など情報弱者は何世代と想定できますか。

情報弱者については、75歳以上の後期高齢者のみの世帯と想定した場合、約6500世帯あります。

個別受信機（防災ラジオ）を導入した場合、受信機一台の価格及び情報弱者の世帯へ配布した場合の総額予算はいくらになりますか。

個別受信機の購入単価は約3万円で、情報弱者の世帯全てに配布する場合の総額はおよそ2億円、電波塔改修費用と合わせますと、約2億4千万円です。

市民の命を守る戸別受信機（防災ラジオ）の導入について、市長の見解を伺います。

人の命にかかわることですので、検討します。

図書館の今後に向けて

パソコンを使い「新聞記事」や「官報情報」などを簡単に検索できるオンラインデータベースを導入できませんか。

今後、資料の利用状況や問合せ内容を参考にしながら、改めて導入について検討します。

「書籍消毒機」「ブックシャワー」をどのように認識していますか。また、近隣市町の導入状況をお尋ねします。

「書籍消毒機」「ブックシャワー」は、本に付着したほこりや臭い、雑菌などを除去する機器であり、利用者が図書館の本を安心して利用するために有効なものと認識しています。東海市、大府市、知多市、武豊町が導入済みです。

書籍を風と紫外線により消毒・殺菌・消臭、ほこりや髪の毛、ダニを除去する「書籍消毒機」「ブックシャワー」を導入してはどうですか。

現在は、導入する予定はありません。

現在、導入する予定はありません。



書籍消毒器 ブックシャワー



市長の市政運営を  
問う創造みらい半田  
石川英之

**問** 今年度で最終年度を迎える第6次半田市総合計画について、市長自身の評価はどのようですか。

**答** 行政と市民がともにまちづくりを行う市民協働の推進に取り組んできました。その積み重ねの結果は、市民評価委員の会からも評価いただいております。成果は得られたと考えています。ただ、市民の皆様が満足いただけの結果が出せなかった課題もありますので、来年度から始まる第7次の計画にも盛り込んでいきます。

**問** 今年度は市長の3期目最終年度にあたりますが、今後も市政のことに取りをしていく予定なのではないでしょうか。

**答** 第7次の計画が始まる来年度は、半田市にとって転機の年になると思います。世界的な価値観が変わっていく中、柔軟に対応できる新しいリーダーにつなげていくことが、私の役目だとも

感じています。ただ、だ半年以上任期が残っていますので、12万市民の幸せのため、精一杯務めさせていただきます。

**問** 実質として引退表明をされたと考えてよろしいですか。

**答** そうです。しかしながら、年明け早々に来年度の予算編成も控えておりますし、コロナ対策も職員一丸となって進めていかなければなりません。あと半年、当局と議会がそれぞれ切磋琢磨して、市民のために全力を尽くして頑張っていきます。



## 半田市議会と常滑市議会合同議員勉強会を開催しました

議会で共通のテーマを設け講師をお招きして勉強会を開催しています。

開催日時 11月25日(水) 午後2時～

場 所 常滑市役所 2階大会議室

講 師 株式会社NTTドコモ東海支社

法人営業部ビジネスデザイン・ICTデザイン課長 おきの 沖野 ただし 直 氏

テ ー マ オンデマンドシステム及び将来のモビリティについて

～MaaS時代に向けたドコモのモビリティ分野の取り組み～



常滑市議会との合同勉強会の様子

地域交通が抱える課題と現状について理解を深め、デマンド交通の必要性や地域の特性にあわせたAIバス等の新しい交通の仕組みについて学びました。

## 今後の本会議の予定

3月定例会

2月22日(月)から3月26日(金)

※会期中の日程は約一週間前の会議で決定します

# 審議結果 令和2年第9回臨時会（11月26日）

( ) 内は議案の補足説明です。

## ■全会一致の案件

議案番号等	議案名
議案75	半田市議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正について (国家公務員の給与改定に基づく議員報酬の期末手当の0.05か月分引下げ)
議案76	半田市特別職員の給与に関する条例の一部改正について (国家公務員の給与改定に基づく特別職員の期末手当の0.05か月分引下げ)

## ■賛否の分かれた案件

議案番号等	議案名	創造みらい半田										公明党	維新・半田市民の会	志民ネット	自民クラブ	無所属	議決結果						
		沢田清	芳金秀展	竹内功治	水野尚美	鈴木幸彦	伊藤正興	澤田玲子	岩田昭司	渡辺孝宏	久世英之	石川伸行	山田清一	坂井美穂	山本美幸	加藤健一		中川健一	小栗佳仁	小出義一	新美保博	嶋崎昌弘	鈴木健一
議案77	半田市職員の給与に関する条例の一部改正について (国家公務員の給与改定に基づく職員の期末手当の0.05か月分引下げ)	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	原案可決

(表の見方) 議は議長(採決に加わらない)、○は賛成の議員、●は反対の議員、退は退席の議員、欠は欠席の議員

### 反対討論

#### 議案77号に反対

鈴木健一議員

本案は、令和2年度人事院勧告による国家公務員の給与改定に基づき、期末手当の支給割合を0・05か月分引き下げるといふものです。半田市の職員は、コロナ禍の中、市民の安心と安全を確保する為に日々全力で職務にまい進されています。職員の間には、一時金の減額には賛成できません。

# 審議結果 令和2年第10回定例会（12月1日～11日）

( ) 内は議案の補足説明です。

## ■全会一致の案件

議案番号等	議案名
議案79	令和2年度半田市乙川中部土地区画整理事業特別会計補正予算第1号 (人事異動などによるもの)
議案80	令和2年度半田市JR半田駅前土地区画整理事業特別会計補正予算第1号 (建物移転補償費に関する繰り越し6億1,555万1千円など)
議案81	令和2年度半田市介護保険事業特別会計補正予算第3号 (人事異動などにより職員給与等を減額するもの)
議案82	令和2年度半田市後期高齢者医療事業特別会計補正予算第1号 (住民税の基礎控除額見直しに伴い、所得・課税情報を追加・変更するためのシステム改修をするもの)
議案84	令和2年度半田市水道事業会計補正予算第3号 (城ノ上公園整備事業を廃止することによる工事費減額など)
議案85	令和2年度半田市下水道事業会計補正予算第1号 (城ノ上公園整備事業を廃止することによる工事費減額など)
議案86	半田市税外収入に係る延滞金に関する条例の一部改正について (改正租税特別措置法の一部改定に伴い、「特別基準割合」の名称が改められたための条文改正)
議案88	半田市介護保険条例の一部改正について (「特例基準割合」の名称変更による条文の一部を改正するもの)
議案90	和解及び損害賠償の額の決定について (太田公園で発生した草刈り機使用による車両損傷事故の損害賠償金など)
議案91	令和2年度半田市一般会計補正予算第14号 (新型コロナウイルス感染症の影響を考慮して、低所得のひとり親世帯に再度給付金を支給するもの)



市民の皆様の大切な税金を有効に使うために…

# 事業評価を行いました



令和2年9月に行った事業評価の審査結果をお知らせします。

半田市議会  
事業評価へ

## 総務委員会所管分

個別施策名	広聴活動の充実
問題提起	①各事業の計画は早い段階で、市民の声を聴く機会を設けること。 ②市民のアイデアや意見を、市政に反映する仕組みをつくること。
市長からの回答	①新規の計画を策定する初期段階において、パブリックコメント手続きの意見募集ができるように現行制度を見直します。 ②幅広い市民から合意形成を諮る、市民討議会等を開催する仕組みについて構築します。
個別施策名	人材の確保
問題提起	①看護師の働く意欲を高めるために、待遇や休暇取得等を充実させること。 ②夜勤従事が正規職員の条件など、内規の見直しが必要ではないか。
市長からの回答	①病棟と外来の一元化やパートナーシップマインドの実践等を通じて、ワークライフバランスの推進による労働時間の短縮に努めます。また気兼ねなく休暇が取得できる雰囲気づくりを心がけます。 ②24時間看護体制においてはやむを得ないと考えますが、子育てや介護等が必要な職員は負担を軽減するよう配慮します。
個別施策名	人材育成
問題提起	①研修内容や対象者など、研修のあり方について改善すること。 ②研修の一環として民間企業へ出向し、一定期間学ぶことでスキルアップを図ること。
市長からの回答	①従来型の集団研修や細分化した研修体系を一部見直し、肝となる階層別研修を堅持したうえで、必要な研修を柔軟に受講できるよう研修内容を統括整理します。 ②受入企業との相互理解が必要であり、現状では受入可能な企業は見当たりませんが、民間主催のセミナーへの参加等により、職員のスキルアップを図ります。

## 文教厚生委員会所管分

個別施策名	福祉サービスの充実
問題提起	①ふれあいセンター・元気スポット事業など、代替わりする担い手育成を地域すべてに任せるのではなく、行政としてもフォローすること。 ②自治区との関係性を強化するような地域ネットワークを行うこと。
市長からの回答	①定期的なふれあい施設の管理スタッフを対象とした交流会を行い、担い手育成を含めた各課題について意見交換するなどのサポートをしており、行政として今後も継続して支援に努めます。元気スポット事業は約200団体で、行政のフォローは必要ない状況と考えています。 ②地域ネットワークの一環である井戸端会議を開催してきました。引き続きコロナ禍における関係維持・強化に努めます。
個別施策名	教員の資質向上
問題提起	①教員の資質向上のための事業を見える化すること。 ②GIGAスクール構想に伴うICT化推進に対応するための研修を行うこと。
市長からの回答	①市が実施する研修等の事業を集約し、成果を見える化します。 ②情報端末導入研修、情報モラル・セキュリティ研修、ICT授業の円滑な実施等の研修を行います。
個別施策名	総合型地域スポーツクラブの活動の充実
問題提起	①行政から各地域スポーツクラブへ助言できる体制を作ること。 ②中学生の部活について教育委員会が指針を改定すること。 ③企画運営できる人材を育成する事業を実施すること。
市長からの回答	①年4回行われる連絡会議で各クラブの状況を確認し、助言します。 ②過去の問題点や課題を整理する中、地域部活動に移行する場合の活動場所や活動拠点、部活動に不可欠な人材の確保や育成など、今後の持続可能な部活動となるよう教育委員会と協議・調整していきます。 ③スポーツクラブ連絡会議や研修会を通じ企画運営の情報を収集し、先進事例を用いて研修会を実施します。スポーツ推進委員にも運営補助をしてもらえるような体制を再度構築していきます。

個別施策名	若者の就労支援
問題提起	①雇用対策を市が主体的に行うのではなく、雇用対策を行っている団体を支援すること。 ②雇用対策を行っている団体の情報をホームページに掲載するなど、市民へ積極的に紹介すること。
市長からの回答	①市主催のヤングジョブキャラバンは廃止し、NPO 法人 ICDS や知多地域学生就職情報センターが開催する「るびあん地元企業就職ガイダンス&業界研究フェア」へ会場の提供及び後方支援を行っていきます。 ②ハローワークやNPO が実施するセミナーについて、市報やホームページへの掲載、チラシの発行等、積極的周知に努めます。
個別施策名	地球温暖化対策
問題提起	①CO2削減の為に、温暖化防止のライフスタイルを具体的に提案するなど、啓発活動を行うこと。
市長からの回答	①令和3年度から地球温暖化対策に資するあらゆる「賢い選択」を促す国民運動「クールチョイス」や事業所での省エネルギー対策、ゼロカーボンシティの啓発に取り組めます。
個別施策名	J R半田駅周辺のまちづくり
問題提起	①J R半田駅前や高架下の活用は、民間資金や知恵、ノウハウ等を最大限に活用すること。
市長からの回答	①高架下利用のコンサルティング業務に対して豊富な知識と経験を持つ事業者と活用方法の検討を進めます。収益性の高い区域の活用にあたっては、実際に高架下事業の企画・運営を行い、店舗誘致やデザイン力に長けた事業者等と連携し、魅力と賑わいのある高架下として整備を進めていきます。

## ● 第27回 議会報告会のYouTube配信について ●

第27回 議会報告会「市民と議会のつどい」は、新型コロナウイルス感染拡大に鑑み、会場にお越しいただく形式の報告会に代え、動画配信の報告会を実施することといたしました。

現在、動画配信サイトYouTubeにて公開配信しています。

議会報告会をご覧ください議会を身近に感じていただけたら幸いです。

### 【配信内容】常任委員会ごとの本会議報告

#### 総務委員会

- 令和元年度一般会計決算審査 ◇広聴事業
- 令和2年度一般会計補正予算 ◇半田市議会の議員の議員報酬等の特例  
◇令和2年度に交付する政務活動費の限度額の特例

#### 文教厚生委員会

- 令和元年度一般会計決算審査 ◇GIGAスクール構想に向けた取組み
- 令和2年度一般会計補正予算 ◇GIGAスクール構想に向けた取組み

#### 建設産業委員会

- 令和元年度一般会計決算審査 ◇観光費
- ◇工業団地造成事業
- 令和元年度特別会計決算審査 ◇墓地管理事業

YouTubeでの  
動画閲覧はこちら！



半田市議会報告会



議会報告会  
YouTubeサイトへ



議員提出議案

両案とも全会一致で可決されました！

半田市感染症条例を制定

新型コロナウイルス感染症は、第3波による感染拡大が続いており、十分な注意を払っていても誰もが感染しうる状況であります。

感染予防対策として、市民の皆様にはすでに多くの制限をお願いしていますが、半田市での感染者は増加している現状です。そんな中で感染症になられたご家族や最前線で従事する医療、福祉、介護の関係者の方々に対し、不当な差別や誹謗中傷をしない、誤った情報による風評被害を発生させない、また、これ以上市内に感染症をまん延させないことを、半田市全体で努力していく内容の条例です。



議員提出議案第4号「半田市感染症対策条例の制定について」起立採決の様子

令和三年度に交付する政務活動費の限度額の特例に関する条例を制定

新型コロナウイルス感染症予防のため、多くの制限によって市内経済も大きな打撃を受けています。それにより来年度の市税収入は大幅な落ち込みが予測されています。

令和3年度の予算編成では、部課内の予算削減に最大限努力していますが、議会としても、調査研究のために支給される政務活動費の限度額を、令和3年度末まで議員1人あたり年額11万円（4万円減）とし、市の事業に少しでも還元しようとする内容の条例です。

あとがき

半田市議会では、市議会を身近に感じていただくために、年に2回（3月・10月）、議会報告会を開催しています。

令和2年10月6日にアイプラザ半田にて開催を予定していましたが、第27回議会報告会「市民と議会のつどい」は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、開催方法を変更させていただきました。常任委員会ごとの本会議報告はYouTubeにて動画配信致しておりますのでぜひご覧下さい。

広報委員会

- 委員長 山本 半治
- 副委員長 嶋崎 昌弘
- 委員 小出義一／鈴木幸彦
- 水野尚美／中川健一
- 榊原伸行

編集・発行 半田市議会

〒475-8666  
半田市東洋町2-1  
TEL 0569-84-0694  
FAX 0569-24-7185  
E-mail: giji@city.handa.lg.jp



QRコードは簡易  
ソーウェアの登  
録商標です。

半田市議会へ